

# 2022.10.25. ComputerScience

業務分析・データ利活用 (全43問中5問目)

業務分析・データ利活用 (全43問中6問目)

## 企業活動

### 経営・組織論

- 企業とは 保有している有効な資源をつかって、利益をあげる組織体のこと。有効な資源: ヒト、モノ、カネ
- 株式会社 株主からあつめた資金をもとに企業活動を行い、得られた利益を株主に還元する仕組みのこと。
- ヒューマンリソースマネジメント 人的資源を有効につかうための管理や人材教育のこと。
- 裁量労働制 労働時間を実労働時間ではなく、裁量によってみなし時間で定める方式
- ワークシェアリング 労働者の勤務時間を短縮したり、複数の労働者で業務を分担するなど配分を見直して、より多くの雇用を確保する仕組みのこと。
- OJT(On The Job Training) 実際の業務を通じて、業務遂行に必要な技術を習得する研修制度のこと。

### 企業のトップが負うべき責任

CEO (Chief Executive Officer)	最高経営責任者。取締役社長を指す。
CIO (Chief Information Officer)	最高情報統括責任者。経営戦略との整合性をとりながら情報化戦略を立てる。情報システム部門の担当役員。
CISO (Chief Information Security Officer)	最高情報セキュリティ責任者。情報セキュリティ管理の責任を担い、セキュリティ戦略の立案・計画・遂行を行う。
CPO (Chief Privacy Officer)	最高プライバシー責任者。個人情報管理やプライバシーポリシーの策定、個人情報に関する問題解決にあたる。
CFO (Chief Financial Officer)	最高財務責任者。財務戦略の立案・遂行を行う。
COO (Chief Operating Officer)	最高執行責任者。CEO の指揮のもと、業務運営の責任を負う。

図表 01-1 経営者層の呼称

- コンピテンシー 能力、または能力のある人材の行動特性のこと。コンピテンシーを分析して、業務や人材教育に生かしたり、人事考課の基準に活用する。

- ダイバーシティ 多様な人材を採用し、多彩な能力を活用すること。
- BCP(事業継続計画)
- カンパニー制組織 社内分社制の1種。

OR・IEと企業分析

- OR(Operations Research: オペレーションズ・リサーチ) 企業経営の意思決定の場面や、運用・管理の問題解決の場面で情報を数値を用いて定量的に分析・評価し、数学的に解法を得るための手法のこと。

分 野	手 法	概 要
線形計画法	シンプレックス法	与えられた複数の条件から最大の効果を得るための解を求める。
在庫管理	EOQ (最適発注量)公式	与えられた条件のもとで、在庫総費用を最小にする。
日程計画	PERT／CPM	日程が最短になるように計画、管理する。
待ち行列	待ち行列理論	確率的手法により、サービスを受けるまでの待ち時間や待ち行列の長さを予測する。
需要予測	時系列分析 回帰分析	過去から現在までの情報から、将来の動向を予測する。

図表 02-1 代表的な OR の手法

- IE(Industrial Engineering: 経営工学) 生産現場から発展してきた手法。資源を効率的に活用し、無駄を省いて生産性を高めるための管理手法のこと。現在ではさまざまな分野で利活用されている。